

フロン類回収を推進するために考えられる方策と  
検討課題について

平成17年3月

フロン回収推進方策検討会

## はじめに

冷媒として優れた特性を持つフロン類<sup>1</sup>は、空調機器や冷凍冷蔵機器等の冷媒として広く使用されている。しかし、フロン類は、地球温暖化をもたらす性質を持っており、同量の二酸化炭素と比べてその温室効果への影響は非常に大きく、また、フロン類のうち、クロロフルオロカーボン(CFC)及びハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)はオゾン層を破壊する性質をも有しており、モントリオール議定書に基づく生産規制等が実施されている。このため、フロン類の大気中の排出を抑制することは、地球環境保全の上で非常に重要な課題となっている。

我が国では、冷媒として使用されたフロン類の排出を抑制するために、使用済機器からの冷媒フロン類の回収を義務づける法制度を整備しており、具体的には、業務用冷凍空調機器については「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」(以下、「フロン回収破壊法」という。)、カーエアコンについては「使用済自動車の再資源化等に関する法律」<sup>2</sup>(以下、「自動車リサイクル法」という。)、並びに家庭用冷蔵冷凍庫及び家庭用エアコンについては「特定家庭用機器再商品化法」(以下、「家電リサイクル法」という。)により、廃棄された各機器中のフロン類を回収し適切に処理することが定められている。

この中で、フロン回収破壊法に基づく業務用冷凍空調機器からのフロン類回収は平成 14 年 4 月 1 日より義務化されている。本法に基づくフロン類回収量は、毎年度、回収業者からの報告を元に公表されているが、これまでのところ、廃棄された業務用冷凍空調機器中の冷媒フロン類の推計量の約 3 割と低い水準に留まっており、回収されなかったフロン類が多量に存在し、それらは大気中に放出されていることが懸念される。

このため、フロン回収破壊法の実効性の確保と、オゾン層保護及び地球温暖化防止の推進を図るため、フロン類回収を徹底することが求められている。

こうしたことを背景に、フロン類回収を確実に実施するための方策について検討するため、環境省の平成 16 年度請負調査<sup>3</sup>において、株式会社野村総合研究所が事務局となって、本検討会が設置された。

本検討会では、フロン類回収を徹底するために考えられる措置の内容と課題を整理し、今後の検討の基礎資料とすることを主な目的として、これまで 4 回会議を開催して検討を行った。

本報告書は、本検討会での議論をとりまとめたものである。

---

<sup>1</sup> 本報告書では、フロン回収破壊法第 2 条第 1 項に定められているフロン類を対象に検討している。文中では「フロン類」と表記している。

<sup>2</sup> 平成 17 年 1 月 1 日より施行。平成 14 年 10 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まではフロン回収破壊法の下でフロン類回収が義務づけられていた。

<sup>3</sup> 「平成 16 年度業務用冷凍空調機器からのフロン排出抑制方策検討調査」(株式会社野村総合研究所)

## 目次

はじめに	
1．業務用冷凍空調機器からの冷媒フロン類回収における問題点	1
（1）検討の背景	1
ア．業務用冷凍空調機器の現状	1
イ．フロン回収破壊法の状況	1
ウ．フロン類回収の状況	2
エ．フロン類回収を巡る昨今の状況	2
（2）廃棄機器の処理及びフロン類回収の実態	4
ア．機器の廃棄形態の発生割合の推定	4
イ．廃棄機器の処理フロー	5
ウ．アンケート結果	9
（3）フロン回収破壊法以外の取組の例	19
ア．自治体や民間団体による取組の事例	19
イ．冷媒フロン類の回収に係る各国の制度の特徴	19
ウ．各種リサイクル法とフロン回収破壊法との比較	20
（4）問題点の整理	21
ア．廃棄者の問題点	21
イ．取次業者の問題点	22
ウ．その他の問題点	22
2．必要と考えられる措置の考え方	23
（1）フロン類の確実な回収を担保するシステムについて	23
ア．廃棄者からのフロン類回収発注を担保する措置	23
イ．廃棄機器の処理過程におけるフロン類回収を確実にする措置	27
ウ．機器の整備時のフロン類回収を義務化する措置	29
エ．措置の組み合わせによるシステムのパターンについて	31
（2）費用負担の在り方について	35
ア．検討の方法	36
イ．各パターンの分析	39
ウ．主な意見	44
エ．費用負担の在り方についてのまとめ	47
（3）その他の措置	48
（4）措置の考え方	49
ア．措置の組み合わせの例	49
イ．機器を分類しての措置の検討	51
3．まとめ	53

略語一覧	5 4
参考資料	
参考 1 業務用冷凍空調機器の概要	5 5
参考 2 業務用冷凍空調機器の状況	5 7
参考 3 機器の廃棄形態の発生割合の推定	5 9
参考 4 第一種特定製品の使用済み機器の処理に係るアンケート調査の概要	6 3
参考 5 地方における取組の例	6 5
参考 6 冷媒フロン類の回収に係る主要国の状況	6 7
参考 7 国内の他のリサイクル制度とフロン回収破壊法との比較	6 9
参考 8 措置の組み合わせによるシステムのパターン案	7 1
参考 9 費用負担の検討パターン	7 7
フロン回収推進方策検討会委員名簿	8 3